

公開シンポのご案内

福島原発事故から4年目を迎え、政治や経済の動きは、私たちの願いとは全く異なった方向に動き出してきました。3割の得票率で支えられた今の体制が今後とも日本の主流になるとは到底思えません。原発依存体制から再生可能エネルギーへの転換やTPP体制から地産地消による自給率向上運動への動きは決して止めることはできない底流を形成していくものと思います。

江戸封建時代から明治資本主義社会への転換が富国強兵・富の蓄積を目標に100年以上の歳月を費やし土台を形成してきたことを思えば、TPP体制からの脱却は「国民の命や健康、環境の再建」を中心テーマに食や農の在り方が問われ、子供や孫たちの健康被害の克服によって実現していくものと思われます。

私たちは一昨年からネオニコチノイド系農薬による子供たちに広がる発達障害や生物の多様性喪失の実態を学び、その問題を抜本的に解決する有機農業の技術問題について、公的機関との共同研究の成果を踏まえながら克服の道を探ってきました。

今回の公開シンポ第I部では昨年まで検討の対象に入っていなかったウンカによる被害を中心にその克服の可能性を探ってみたいと思います。アジア全域に広がりつつあるヒメトビウンカによる縞萎縮病とトビイロウンカによる坪枯れなどの防除に大量のネオニコチノイド系農薬やフィプロニル農薬が使用されてきましたが耐性ウンカが生まれ、被害を食い止めるには至っていない状態です。無農薬・有機栽培でヒメトビウンカやトビイロウンカの被害を食い止めた生産者のみなさんから、その要因をご報告頂き、アジア全体を視野に入れ、有機農業による克服の可能性を論議したいと思います。

第II部では水田生物の多様性を育む省力・低コストの抑草技術を確立した新潟県魚沼市の佐藤繁雄氏の抑草技術を中心に、遊び心たっぷりのユニークな石塚抑草法をご紹介頂きながら省力技術のポイントを交流し学びたいと思います。

第III部では福島原発の事故から4年目に入って、新たに広がった汚染の実態をご報告頂き、汚染防止のための手法と代かき除染や植物除染の効果、未だ消えない風評被害の実態を報告していただきながら、被災地域の経営再建の展望を話し合っていきたいと思います。

特に放射能汚染地域の除染を兼ねた油脂作物の生産は遺伝子組み換えなたねと大豆の大量輸入によって生産されている我が国の油脂生産を根本から立て直し、食と環境への遺伝子汚染を抜本的に解決しようとする試みでもあります。こうした歴史的役割に焦点を当てながら、農業再建の方向性と可能性について河田昌東先生にご講演頂き、有機農業による放射能汚染の克服と地域農業の再建に取り組んでまいりたいと思います。

なお、夕食懇親会では会員のみなさまが生産する有機米や有機日本酒・有機地ビール・有機食材などを持ち寄り、試食会を実施したいと思います。出品可能な方は事前にお知らせ下さい。みなさまの貴重な品々を肴に親睦を深め、英気を養っていききたいと思います。

記

1 日時 2014年2月15日(土)午後 1:00 ~ 16日(日) 12:30

2 会場 コンセーレ 栃木県宇都宮市駒生 1-1-6 TEL:028-624-1417

3 締め切り 2月7日(金)期限厳守。定員150名になり次第締め切りと致します。

公開シンポ

(2月15日(土) 大ホールA)

13:00~13:30 受付 13:35 開会あいさつ

第Ⅰ部 有機農業の普及によるネオニコチノイド系農薬汚染の克服

(進行 川俣文人・本田強)

特別講演 アジアに広がるウンカの被害と深刻な農薬汚染(13:35~14:30)

田坂興亜(元アジア学院 理事長)

有機稲作による病害虫克服の技術的可能性(14:30~16:30)

基調提案 病害虫発生要因とその克服技術・抑草技術の探求 稲葉光國

報告1 ウンカ常襲地帯での有機稲作による被害克服 館野廣幸

報告2 コシヒカリの栽培特性を考えたシマハガレ病の発生防止法 松本治(予定)

報告3 宮崎県早場米地帯でのウンカ・カメムシ防除と有機稲作 松本嗣夫

総合討論(有機農業による農薬汚染克服の展望)

第Ⅱ部 日本海・豪雪地帯の抑草技術(16:40~18:00)

報告4 豪雪地帯での有機稲作一成功した抑草技術 佐藤繁雄

報告5 遊び心のユニーク除草技術 一本釣り除草 石塚美津夫

質疑と総合討論

18:30~19:00 チェックイン手続き

19:00~21:00 夕食・懇親会(有機米・有機地ビール・有機日本酒・うどん・そばなどの試食会)

21:00~ 2次会 若手農業者・研修生交流会・「DVD放射能汚染からの農業再建」鑑賞会

第2日目(16) 9:00~12:00(アイリスホール)

第Ⅲ部 放射能汚染と向き合った農業者の戦い

① 田畑の除染事業の深化発展とグリーンオイルプロジェクトのとりくみ 稲葉光國

② 放射能汚染地域における菜の花ひまわり栽培と農業再建の取り組み 上野・成澤

③ 風評被害下の大豆・なたねの有機栽培に託す油脂作物自給の取り組み 大内信一

河田昌東先生特別講演(10:00~12:00)

油脂作物による放射能除染の可能性と遺伝子組み換え農作物に汚染される油脂産業

分子生物学者、チェルノブイリ救援中部の理事として活躍されていた先生が南相馬市に入って放射線量を測定しながら農業再建に取り組んできた成果をもとに植物除染の可能性と遺伝子組み換え農産物に汚染される油脂産業の現状克服のための植物油自給の意義を語り、ともに解決の道を考えます。

総合討論(12:00~12:30)

田坂興亜先生プロフィール

1940年新潟市生まれ。東京工業大学卒業後、フルブライト留学制度によりニューヨーク州立大学に留学。有機リン化合物の化学研究で1968年にPh.Dを授与される。1970-2002年国際基督教大学(ICU)在職。研究テーマは、アジア各国の食品中に残留する農薬の分析。1982-83年、JICAからタイに派遣され、理科教育の分野で国際協力に携わる。2002年から2006年まで、アジア学院校長(2005年度は理事長兼任、現在は常任理事)を務める。現在、アジア学院常任理事。国際人材開発機構(IHI)理事長、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議常任幹事・カンボジア市民フォーラム共同代表など。著書:「アジア食品農薬汚染」家の光協会、1991年。「危機に立つ人間環境」光村教育図書、1999年など。

河田昌東先生プロフィール

1940年秋田県生まれ。1963年東京教育大学(現筑波大学)理学部卒業。1963年名古屋大学理学部分子生物学研究施設大学院入学。1968年同満了 1969年同研究施設助手 2004年名古屋大学理学部大学院生命理学科定年退職 2005年私立四日市大学非常勤講師 現在に至る。

専門分野:遺伝情報解読機構の研究及び環境科学

著訳書:J.D.ワトソン著「遺伝子の分子生物学」第1版～第2版(共訳)

1996年頃から遺伝子組換え作物の商業栽培に伴い、情報収集と問題点などを整理し公開。遺伝子組換え情報室(<http://www2.odn.ne.jp/~cdu37690/>)を主催。

1990年からチェルノブイリ原発事故の汚染地域、ウクライナ・ナロージチ地区に入り医療救援活動などに取り組む。近年は、放射能汚染のために利用されていないウクライナの広大な農地の再生に取り組み、ナタネを植えて、バイオディーゼル燃料を作るプロジェクトを進めている。去年の福島での原発事故後は、福島県須賀川市の農業生産法人で稲への放射性物質の移行を減らす取り組みに助言をしてきたほか、各地で農家へのアドバイスを行ってきた。

(NHK総合テレビ 復興サポート 放射能汚染からの農業再生 より)



会場 (コンセーレ) 案内図



<交通のご案内>

- 東北自動車道
 - 鹿沼ICより9.5km
 - 宇都宮ICより9.0km
- JR宇都宮宇都宮駅
 - 関東バス[作新学院駒生]行き(⑥⑦番のりば)
 - 東中丸バス停下車(コンセーレ前)
- 交通機関料金
 - バス(JR宇都宮駅～東中丸)200円
 - タクシー(JR宇都宮駅～コンセーレ)約1,700円

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1番6号
財団法人栃木県青年会館
TEL028-624-1417 FAX028-624-1843
E-mail: concere@olive.ocn.ne.jp

問合せ先 NPO法人 民間稲作研究所
栃木県河内郡上三川町鞆堂72 Tel/fax0285-53-1133
[メール urata@inasaku.or.tv](mailto:urata@inasaku.or.tv) 担当 浦田・稲葉

総会・公開シンポ参加申込書

fax 0285-53-1133 締切 2月7日です

氏名 _____ 電話 _____

住所 〒 _____

参加するシンポの参加金額を○で囲みファックスして下さい。3日前からのキャンセルは全額料金支払となりますのでご注意ください。なお資料のみご希望の方は1000円で頒布します。

| | | 15(土) | | | | 16(日) | |
|--------------|------|---------------------|--------------------------|-----------------------|-------|-----------------------|------------------------|
| | | 総会 13:45~18:30 | 第ⅠⅡ部農薬・技術 13:45~18:30 | 試食・懇親会 19:00~21:00 | 宿泊 | 第Ⅲ部 放射能 9:00~10:00 | 河田昌東講演会 10:00~12:30 |
| 会員 | 全日程 | 17,000円(1日目の弁当代を含む) | | | | | |
| | 部分参加 | | 3,000 | 5,000 | 5,000 | 2,000 | 1000 |
| 非会員 | 全日程 | 19,000円(1日目の弁当代を含む) | | | | | |
| | 部分参加 | | 4,000 | 5,000 | 5,000 | 3,000 | 1000 |
| 15日弁当希望 | | 1 希望する(1000円) | | 2 希望しない | | | |
| 試食会 出品食材名 | | 品目 () 特徴など | | | | | |

※ 試食会出品食材は希望される方のみご記入下さい。なお有機米は1.5kg以上、有機日本酒(720ml)1本、地ビール(330ml)10本、その他食材は80名が一口試食できる量としてください。

※ 申込確認後 郵便振替用紙を発送いたしますので内容をご確認のうえご入金下さい。